

No.18 2010. 1. 発行:日本共産党 倉敷市議会議員団 倉敷市西中新田 640 TEL086-426-3767

民大増税に反対し、憲法を守りぬきます。

日本共産党倉敷市議会議員 末田 正彦 sueda@mx7.kct.ne.jp TEL086-470-0662 FAX086-470-0668

11月定例市議会報告

倉敷市議会 11 月定例会は 11 月 26 日開会し、 本年度一般会計補正予算案(約19.8億円)条 例案など 55 議案を議決し、12 月 11 日に閉会し ました。

補正予算の主なものは、わが党がかねてより 求めていた、ホームレス又は解雇などによりホ ームレスになるおそれのある人に対して、巡回 相談や一時宿泊施設(現在4戸)の提供をおこ ない支援するホームレス対策事業に414万円。

離職者が介護施設などで働きながら介護福祉 士やホームヘルパー2級の資格を取ることで、 介護現場での人員不足の解消・雇用の創出を図 るための事業に 2.364 万円。同じく、イノシシ などによる農作物の被害防止を図るための事業 費1,297万円など、緊急雇用創出事業交付金を 活用しての雇用創出(102人分)を図る経費が 盛り込まれました。



一般質問をおこなう末田正彦議員

また今議会で党市議団は、新政権が後期高齢 者医療制度、障害者自立支援法の廃止を約束し ておきながら先送りにしようとしていること、 さらに民主党の「陳情窓口一本化」問題など、 国の政治に対する市長の政治姿勢についても質 したところです。

党市議団は、今年もいのちと暮らしが大切に される市政の実現目指して、全力をつくします。

倉敷市議会議員 末田 正彦



10月3日 倉敷市立柳田保育園運動会



10月11日 秋祭り子ども神輿(児島柳田八幡宮)

11 月定例市議会, 末田まさひこの一般質問から 質問内容の一部を抜き出して、編集してあります

市立児島市民病院の

一日も早い正常化を求めて

医師確保(内科医、産科医)の取り組みにつ いてさらなる努力を求め、「病院改革プラン」策 定について、当局の考えを問いました。

「公立病院改革ガイドラインは、2007年6月、 当時の安倍内閣が閣議決定した『経済財政改革 基本方針 2007』で明記されたもの。5年間で1 兆 6,000 億円、毎年 2,100 億円の社会保障費の 削減、自治体リストラを進める計画の中で掲げ られた。自治体病院の再編、縮小、廃止を進め て、地域から医師や病院を奪い、地域の医療の 格差を一層広げる危険な内容を含んだものにな っている。

改革プランはあくまで、地域社会で求められ ている医療体制の姿を明らかにし、病院の基本 理念、基本方針に沿った策定こそ望まれている。 公立病院改革ガイドラインに沿ったプラン策定 はすべきでないと考える。

プラン策定検討委員会には児島地域からの市 民代表の参加を求めたい。昨年9月、児島の住 民は、児島市民病院の正常化に向けて、『市立児 島市民病院を守り、地域医療を考える会』を結 成し、住民みずからも医師派遣要請の署名活動、 倉敷市長及び岡山大学病院長へのお願い、学習 会の開催、また病院内での七夕コンサートの開 催や植木の剪定などのボランティア活動を通じ て児島市民病院を応援してきた。是非、『考える 会』からの人選を望む」

伊東香織市長は、「御提言にもあるように児島 の代表の方々に、プランの策定検討委員会に入 っていただく方向で検討したい」

田口哲男保健福祉局長は、「改革プランの策定 にあたっては、議員御指摘のとおり地域の実情 や公立病院としての役割を踏まえた上で、医療 提供体制をいかに確保するかという視点が重要 だと考えている」とそれぞれ答弁しました。

児島地域の諸事業について

1.児島市民交流センターの管理運営について 児島市民交流センターに統合される公民館の あり方について質問しました。

「ビル管理を指定管理者制度にすると、公民 館の指揮命令は働かなくなる。6月議会では、 児島公民館が有している生涯学習施設としての 機能を後退させないよう運営方法については十 分配慮すると答えられたが、運営方法について どのように配慮する計画か。私は直営方式での 管理を求め、指定管理者制度はなじまないと再 度強く申し上げておく」

吉田雄平教育長は、「児島市民交流センターに 計画している公民館は、社会教育法に定められ



10月25日 倉敷医療生協児島健康祭りで挨拶



10月28日 党市議団、倉敷市 2010年度 予算編成にあたり要望書提出

ている目的や事業を実施するため、倉敷市公民 館条例に規定する児島地区の基幹公民館として 整備する。定期講座や地域課題解決の場の提供 といった公民館業務については、事務職員のほ か人権啓発指導員など必要な専任スタッフを配 置し、現在と同様に市の直営で実施したいと考 えている。また、施設全体のビル管理や貸し館 業務に指定管理者制度が導入されても、公民館 業務実施のための施設優先利用などについて、 生涯学習施設としての機能を後退させることが ないよう慎重に検討する」と答えました。

2. 児島産業振興プラザ整備事業について

児島産業振興プラザ整備事業は、旧マウントフット大学跡を産業振興施設として整備し、創業支援と産学連携事業をすすめるもので、児島地域の産業とまちの活性化、まちおこしにとってどういう役割を果たすのか、質問しました。

若手起業家の創業支援としてインキュベーションマネジャーを配置し、入居する方たちへの経営・営業を支え、繊維関係、とりわけデザインを切り口として地場産業の振興を図るものと聞いている。デザイン、服飾美術など専門に精通したマネジャーの配置が必要と考えるが。

児島ジーンズストリート構想など、地元の まちおこしとのタイアップなども必要となって くると思うが、その関連については。

市立短期大学との連携については。

藤田秀徳文化産業局長は、「デザイナーズイ

ンキュベーションには、経営面や営業面のみならず、精神的にも支えることのできる経験豊富なインキュベーションマネジャーを配置したい。 まちづくり、まちおこしとの連携については、一定期間をインキュベーションで過ごでは、一定期間をインキュベーションで過じませば、地域の商店街などに拠点を移し事業活動を展開することにより、まちおこしの担い手として活躍することを期待している。 『産学連携デザインセンター』を設け、服飾美術学科を有する市立短期大学など倉敷、岡山地域に多いデザイン系教育機関と繊維産業などの地場産業との連携を促進する。デザインを切り口に児島地域はもとより、本市の地場産業の振興に努めたい」と答弁しました。

危険放置家屋の市の対応について

地域で増えてきている危険放置家屋に対する 市の対応について質問しました。

「地域を歩いていると、居住者がいなくなり 放置された家屋に出くわし、『瓦が落ちてきそう で危ない』『倒れかかってきそうで危険』など相 談が寄せられる。今後高齢化と核家族化が進む につれ、急速に空き屋が増えてくることが予想 される。行政当局においても、市民生活の安全・ 安心を確保するため、何らかの対応策の検討を 始めなければならないのではないか」と以下の 3点について質問しました。

市内にある危険な建物の把握とその方法、



10月31日 第16回中小商工業全国交流・研究集会



12月15日 党市議団視察(玉島障がい者支援センター)

この間の主な参加行事、活動です(10~12月)

市民からの苦情件数や相談対応、 住民の求める安全策に応える体制の確立と対策

富岡光男建設局長は、「危険家屋の全ての把握は困難。調査し危険であれば、所有者に文書で改善を求めている。対策については、防犯、火災予防、環境衛生、交通安全などの問題を含め、今後関係する各機関の協力をえて、危険家屋に対する指導マニュアルの作成や、広報紙やホームページなどによる建物維持保全に対する広報活動などをすずめていきたい」と答えました。

再質問では、対応マニュアルの作成にあたっては、「危険な状況」の規定、建築基準法第 10 条「保安上危険な建築物に対する措置」の反映が重要であると指摘をし、検討を求めました。

国民の請願権はどうなる? 民主党の「陳情窓ロー本化」問題

民主党岡山県総支部連合会が、国への陳情窓口を 一本化する「おかやま地域要望サポートガイドライ ン」を発表しました。

その内容は、「県、市町村、各種団体、地方議員」などの国への要望は、すべて民主党岡山県連が受けつけ、内容を判断したうえで民主党本部小沢一郎幹事長室を通じて各省庁に伝えるというもの。

さらに文書には、「民主党の政策、マニフェストとの整合性を判断し、無理な要望は受け付けない」とも書かれてあります。これは、明らかに憲法16条の国民の請願権のじゅうりんであり、国民の上に政党を置く傲慢きわまる考え方です。

この問題については、田辺昭夫市議が党市議団を 代表して11月議会一般質問で取り上げました。「ど んな人でも、いつでも自由にものが言える社会が当 たり前の民主主義社会。国への要望を民主党県連に 絞るという今回の民主党岡山県連のガイドライン は、民主主義を否定し、国と地方の関係をゆがめる もの」と指摘し、伊東市長の毅然とした対応を求め ました。

これに対して伊東市長は「陳情窓口が限られるのは困る」と述べるにとどまりました。

民主主義の根幹をゆるがす民主党の「陳情窓口ー本化」を許してはなりません。

- ・10/1,2 党市議団行政視察
- ・10/3 倉敷市立柳田保育園運動会
- ・10/5 党市議団市政報告会(倉敷労館)
- ·10/6 党倉敷地区委員会総会
- ・10/10,11 秋祭り(児島柳田八幡宮)
- ・10/11 暮らしとごみ展 in クルクルセンター
- ・10/13 倉敷民商婦人部主催「税金滞納問題学習会」
- ・10/14 倉敷市議会活性化協議会
- ・10/16 老人クラブ大会児島会場(児島公民館) 土地家屋調査士会倉敷支部オンライン研修会
- ・10/17 倉敷市立柳田幼稚園運動会
- ・10/20 党倉敷地区委員会総会
- ・10/24 地元町内会親睦会
- ・10/25 倉敷医療生活協同組合児島健康祭り
- ・10/26 倉敷市議会総務委員会
- ・10/28 党市議団、来年度予算編成にあたり要望書提出
- ・10/30 土地家屋調査士会倉敷支部研修会
- ・10/31~11/2 第 16 回中小商工業全国交流・研究集会
- ・11/3 第9回児島中学校区老人クラブグランドゴルフ大会
- ・11/4~6 南部水道企業団議会行政視察
- ·11/10 党倉敷地区委員会総会
- ・11/13 倉敷市議会活性化協議会
- ・11/15 党倉敷・早島後援会一日バス旅行
- ・11/19 党市議団、倉敷医療生協理事会との懇談会
- ·11/20 倉敷市議会総務委員会 党市議団 11 月議会前懇談会(倉敷労館)
- ・11/21 第 5 回岡山県婦人協議会ふれあい ルーポール大会 党市議団主催農業問題学習会(倉敷労館)
- ・11/22 児島ソフトボール振興会スローピッチ大会参加
- ・11/23 党倉敷地区委員会総会
- ・11/25 党地方議員団、岡山県に来年度予算要望(県庁)
- ・11/26 倉敷市議会 11 月定例会開会 (12/11 まで)
- ・11/27 チボリ跡地を考える市民のつどい(倉敷労館)
- ・12/3 末田正彦市議本会議一般質問登壇
- ・12/5 党岡山県委員会、党岡山県議団主催 「後期高齢者医療制度の廃止を求める県民集会」
- ・12/6 地元町内会集会所大掃除
- ·12/8 党倉敷地区委員会総会
- ・12/9 倉敷市議会総務委員会 倉敷民商「全国交流・研究集会」報告集会
- ・12/11 倉敷市議会 11 月定例会閉会
- · 12/15 倉敷市戦没者追悼式(倉敷市民会館) 党市議団管内視察
- ・12/17,18 倉敷市議会活性化協議会行政視察
- ・12/20 倉敷地区党会議/児島中学校区青少年を育てる会「ボールとふれあうスポーツ大会」
- ・12/24 南部水道企業団議会第3回定例会
- ・12/27 岡山県党会議